



2020.5.1

No. **205**
3 月
定例会

市議会だより

『甲府市子ども未来応援条例』を
可決しました！



新型コロナウイルス対策の要望書提出

CONTENTS

- 市議会の^{トピックス}topics ②ページ
- 3月定例会の概要／市長所信表明要旨
..... ③ページ
- 市政に関する質問 ④～⑨ページ
- 予算特別委員会審査の概要 ⑩～⑪ページ

- 審議結果／請願審査結果 ⑫～⑬ページ
- 常任委員会審査の概要／
常任委員会行政視察の状況 ⑭ページ
- 意見書・決議の要旨 ⑮ページ
- 議会日誌／6月定例会の予定 ⑯ページ

『甲府市子ども未来応援条例』を可決しました。

このような条例です。

子どもを応援するための基本理念を定め、市の責務や保護者、地域団体などの役割を明らかにし、すべての大人が連携・協働することにより、未来を担う子どもの成長を応援する社会の実現を図ることを目的としています。



条例案の審査における質疑の一部を紹介します。

Q 第20条で「子ども応援委員」で構成する「子ども応援会議」を設置するとしていますが、その進め方について伺います。

A 本市の子どもを応援する施策と連携・協働する事業者などに意見を聞く中で参加を募り、様々な分野を代表する方と子ども応援会議による取組を進め、ネットワークを構築していきたいと考えています。

Q 第28条の「子どもの権利等の普及」については、甲府市自治基本条例でも明記している「子どもの権利」の文言も追加してはいかがですか。

A 実際に、子どもの権利を普及させていく際には、甲府市自治基本条例にも規定されている旨も説明することで、深くご理解いただけるものと考えています。

topic 市議会での新型コロナウイルス感染症対策について

市民を守る要望提出

甲府市議会では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、正副議長及び各会派代表者で構成する「甲府市議会新型コロナウイルス感染症対策連絡会議」を設置し、迅速な状況把握に努めるとともに、市民のみなさまの不安の解消に向け生活相談専用ダイヤルの設置など、市に対して要望活動を展開。



会議の様子



要望書の提出

topic 「議会事務局」を「議会局」としました。

補佐機能の充実・強化を図りました。

甲府市議会は今までも、「市民と議会の交流会」の開催など、開かれた議会を目指し活動してきましたが、中核市にふさわしい議会として、更なる活性化を図るため、「議会事務局」を「議会局」とし、新たに「政策調査担当課長」を配置するなど、市議会の補佐機能の充実・強化を図りました。

3月定例会の概要

甲府市議会は、3月定例会を2月26日から3月24日までの28日間の日程で行いました。

令和2年度甲府市一般会計予算、甲府市市民センター条例の一部を改正する条例制定についてなど、各常任委員会の審査(14ページ)及び予算特別委員会の審査(10・11ページ)を経て、市長から提案された48案件や、甲府市議会議会局設置条例制定について及び意見書・決議(15ページ)の議員提案5案件を審議し、すべて可決いたしました。

なお、主な補正予算は、令和元年度甲府市一般会計補正予算(第6号)で、新型コロナウイルス感染症に関し緊急に対応するための補正等となっています。

樋口雄一市長 所信表明要旨



令和2年度の市政執行にあたりましては、「第六次甲府市総合計画」における基本構想に

基づき、次に述べます方針のとおり、施策の重点的かつ効率的な執行に努めてまいります。

○いきいきと輝く人を育むまちをつくる

次代を担う子どもたちの豊かで健やかな心身の育みに資する取組や、地域で子どもの成長を見守り、応援する仕組みづくりを進めるとともに、学校教育のICT化の推進や外国語教育の充実など時代に即した教育環境の構築に取り組んでまいります。

また、国際感覚豊かな人材の育成に取り組むとともに、ライフステージに応じたスポーツの普及と生涯学習の充実による生きがいの創出を図り、誰もがいきいきと暮らせるまちづくりを推進してまいります。

○魅力があふれ人が集う活力あるまちをつくる

地域産業の振興のため、地場産品等のブランド化の推進をはじめ、販路開拓の支援や企業立地の促進を図るとともに、若者と外国人の就業機会の確保や、女性の起業等の後押しなどにより、

魅力と活力があふれるまちづくりを進めてまいります。

また、中心市街地の賑わいの創出に取り組むほか、地域資源の魅力の掘り起こし等による観光振興を図り、国内外からの観光客を誘致するとともに、引き続き移住定住施策を推進するなど、交流と賑わいのあるまちづくりに取り組んでまいります。

○安全で安心して健やかに暮らせるまちをつくる

防災意識の醸成や、自助・共助・公助による地域防災力の向上を図るとともに、防犯や交通環境の改善に努めるほか、消費者被害の未然防止や消費生活問題への助言・支援に取り組むなど、安全で安心して暮らせるまちづくりを進めてまいります。

また、保健所機能と保健センター機能を併せ持つ甲府市健康支援センターを拠点として、健康危機管理対策を実施するなど、市民の健康と安全の確保に取り組むとともに、多様な主体との連携による健康づくりや、高齢者の暮らしを地域で支え合う仕組みの構築など、いつまでも健康で生きがいを持って暮らし続けられるまちづくりを推進してまいります。

○自然と都市機能が調和する快適なまちをつくる

環境美化活動の推進による環境保全意識の醸成などを進め、循環型社会の

構築を目指すとともに、開園100周年を迎えた附属動物園を含む遊亀公園の一体的な整備に着手し、全ての世代が集い交流する場を創出するなど、潤いのある快適な環境づくりを進めてまいります。

また、リニア中央新幹線の開業を見据えた取組や、都市機能と生活利便機能の集約と連携による都市構造の実現に取り組むなど、利便性の高い都市基盤の構築による持続可能なまちづくりを進めてまいります。

○基本構想の推進

開府500年を契機とした「故郷こふ」への誇りや愛着を醸成し次代に継承する取組を引き続き実施するとともに、ボランティア活動の更なる活性化を図り、市民と行政による協働のまちづくりを推進してまいります。

また、中核市として、連携中枢都市圏の形成に向け、近隣自治体とのより一層の連携を進め、将来にわたって圏域の経済成長や暮らしの利便性向上などを図ってまいります。

加えて、都市ブランドの確立や様々なネットワークを活用したシティブロモーションに取り組むほか、中核市の職員として多様化する市民ニーズに的確に応え困難な課題に果敢に挑む人材の育成を始め、事務の効率化や選択と集中による行財政改革を一層加速させ、未来に責任が持てる自治体運営に努めてまいります。



こうふ未来
代表質問 (分割)

廣瀬 集一

こうふ開府500年記念事業について

質問Q 4年間のこうふ開府500年記念事業の実績と総括について伺います。

答弁A 2016年度に各種団体等に参画いただく中で実行委員会を設立して以降、2019年末までに、延べ33事業を実施し、33万人を超える非常に多くの皆様にご参加いただきました。

また、食育推進全国大会等の各種全国大会や、NHKのど自慢など様々なプロモーション事業も展開し、県内外の多くの皆様にこうふ開府500年を認知いただけたものと考えています。

多様な事業の中でも、甲府ラーニング・スピーチや私の地域・歴史探訪、こうふドリームキャンパスは、未来に残すべきレガシー事業として今後も継続的に推進し、市民の皆様がこのまちに愛着と誇りをもって暮らしていけるまちづくりに取り組んでまいります。

第二次こうふDO計画の進化について

質問Q こうふDO計画（甲府市情報システムのダウンサイジング及びアウトソーシングによる最適化）におけるSLMの取組、制度改正や新しいシステムの構築費用、また、日本人の戸籍や外国人住民の国籍等の個人情報取り扱いについて伺います。

答弁A SLMは、サービスレベルの維持と品質向上を図るマネジメント活動であり、今後の情報技術の進展や市民ニーズの多様化を踏まえ取り入れたものです。システム改修等の費用負担については、大幅な変更や新たなシステムを構築する場合には、事業者と協議の上、費用が発生することとなります。

戸籍の正本は、戸籍法に基づき市役所内に備え、住民票における日本人の戸籍や外国人住民の国籍等の情報は、高度なセキュリティにより適切に管理を行っています。

その他の質問事項

・甲府市役所における働き方改革について 他



日本共産党
代表質問 (分割)

木内 直子

甲府市子ども未来応援条例における貧困対策について

質問Q 甲府市子ども未来応援条例における、子どもの貧困対策の具体的な内容について伺います。また、就学援助対象者の拡大、就学援助新3項目（クラブ活動費、生徒会費、PTA会費）の支給、学校給食の無償化を求めますが、見解を伺います。

答弁A 本条例では、子どもの貧困問題に総合的に取り組むこととしており、現在策定を進めている甲府市子ども・子育て支援計画において、教育・生活・就労・経済的支援の4つの事業分野に、子どもの貧困への対策につながる事業を位置付け、子どもの貧困に対する支援の充実に取り組むこととしています。

なお、就学援助対象者の拡大、新3項目の実施、学校給食の無償化については、現行の制度を維持しつつ、引き続き他都市の動向等を注視してまいります。

DV防止について

質問Q 本市におけるDV相談件数は増え続けており、DV防止の取組を強化することを求めますが、見解を伺います。

答弁A 本市では、甲府市DV防止基本計画を策定し、DVのない社会の実現に向け、女性活躍支援サイト「なでしこPlus」等により、市民意識の醸成に努めるとともに、名刺サイズのカードを市の窓口や庁内の女性用トイレに設置するなど、相談窓口の周知に努めています。

また、甲府市女性総合相談室では、被害者等の安全を確保するため、関係機関等への同行支援を実施するとともに、緊急性の高い避難等が必要な被害者に対し、迅速で確実な支援が行えるよう相談機関相互の連携を強化しています。

今後、女性総合相談体制の充実に努め、関係機関等と連携してDVを許さない安心して暮らせる社会の実現を目指してまいります。

その他の質問事項

・重度心身障害者医療費助成制度について 他





こうふクラブ
代表質問（分割）

山田 厚

市職員の自殺事案について

質問Q 今年度発生した痛ましく悲しい自殺事案に対しての認識と、このような事態を二度と起こさないための調査・分析、再発防止策について伺います。

答弁A 大切な職員の尊い命が失われたことは、非常に重く受け止めており、こうした出来事が今後決して起こらないよう、職場環境を整えていくとともに、働き方改革等に取り組んでまいります。

本事案については、業務内容の確認や関係職員への聞き取りなどを行っており、仕事や職場で要因となり得るものに関しては、対応をとる必要があると考えております。

こうしたことから、ストレスチェックの高ストレス該当者には必ず面接指導を受診するよう促し、業務の見直しや事務分担の平準化など業務改善を進めています。

今後は、超過勤務命令のシステム化等、労務マネジメントの取組を更に推進し、働きやすい職場づくりに向け取り組んでまいります。

甲府市自殺対策推進計画における勤務者・経営者の自殺対策等について

質問Q 甲府市自殺対策推進計画に、勤め人・勤務問題やハラスメント対策を盛り込むこと、また甲府市における公務災害補償に係る助力義務への対応について、それぞれ見解を伺います。

答弁A 本計画では、自殺者の傾向として勤務問題が上位となっており、また、事業所等においてこのころの健康づくりにつながる普及啓発等、メンタルヘルス対策の推進に取り組み、ハラスメントが起きた場合も、労働相談事業を実施し、自殺リスクの軽減に向けた取組を推進してまいります。

なお、公務災害補償に係る助力義務につきましては、施行規則に基づき、本人やご家族に寄り添う中で適切に対応してまいります。

その他の質問事項

・甲府市職員の健康状態の把握について 他



政友クラブ
代表質問（分割）

荻原 隆宏

新型コロナウイルスへの対応について

質問Q 感染を水際で食い止めるという段階からフェーズが変わった現在、感染拡大防止策、感染された方への様々な配慮、新型コロナウイルス感染症に対する医療体制の強化について、どのように取り組んでいるのか伺います。

答弁A 健康支援センター内に設置した「帰国者・接触者相談センター」に相談等があった際には、国の基準も勘案しながら、診察した医師の判断によりPCR検査を行うことができるよう、柔軟な対応を図っています。

今後、感染者数が大幅に増加した場合に備え、山梨県をはじめ、市内の医療機関と密接な連携を図る中で、国の方針に基づき指定医療機関以外の医療機関への受け入れについても検討を重ねています。

市民の皆様への感染予防についての働きかけも継続しながら、市内発生時には地域に混乱が生じないように適切に対応していきます。

児童館の整備について

質問Q 児童館は「子育て・子育て」の拠点として重要な役割を担っていますが、児童数の多い南部地域には未設置です。一刻も早い開設が望まれますが、見解を求めます。

答弁A 本市の児童館等については、東部1、西部2、北部1、そして中道地域に2カ所の合計6カ所において運営をしています。

新たな「甲府市子ども・子育て支援計画」の策定にあたり、保護者を対象に実施したニーズ調査を現行計画の調査結果と比較したところ、「放課後の過ごし方」において、児童館を希望した割合は、全体では5.1%から5.9%となっている中、南部地域では5.6%から8.1%と需要が高まっている状況です。

地域における需要を踏まえ、新たな計画の期間内において引き続き検討してまいります。

その他の質問項目

・人口ビジョンと第二期総合戦略について 他





創政こうふ
代表質問（一括）

清水 仁

令和2年度当初予算の編成について

質問Q 樋口市長は今年の漢字として「起」を掲げられましたが、新たな甲府市を創り上げるという強い想いをどのように新年度予算に反映したのか伺います。

并A 予算編成にあたっては、令和2年度を未来に向かって新たな甲府を創り上げていく起点として、未来を担う子どもたちの輝きづくりや女性が躍動できる環境づくり、更には、健康といき

がいくりに想いを傾注したところであり、甲府市子ども未来応援条例に基づく子どもの権利擁護や女性おうえん資金制度の創設、健康都市宣言を踏まえた各種事業等に係る経費を計上しました。

また、昇仙峡をはじめとする観光資源を活用し、賑わいの創出につなげる観光施策に係る経費や、地域における防災士の資格取得の支援等、地域防災力の強化を図る新たな経費を計上したところです。

人権問題としての拉致被害について

質問Q 拉致被害に対する本市としての考えと、長い時間の経過により風化させないための取組について伺います。

并A 国では、拉致問題の解決なくして北朝鮮との国交正常化はあり得ないとの方針を堅持し、拉致問題解決に向けた様々な取組を進めています。

本市としても、全ての拉致問題の早期解決につながるよう、国や県と連携した北朝鮮人権侵害問題啓発週間における啓発活動を継続的に実施するほか、新たな取組として、昨年度は、「拉致問題啓発舞台めぐみへの誓い／奪還」を開催するなど、啓発に取り組んだところです。

今後、人権啓発パネル展や講演会の開催、各種イベントでの啓発活動等を実施し、拉致問題に対する関心と認識を深めていくよう、継続して取り組んでまいります。



その他の質問事項

・昇仙峡の観光振興について 他



公明党
代表質問（分割）

兵道 顕司

洪水を想定した防災訓練の実施について

質問Q これまでの地震想定に加えて、洪水想定での防災訓練も各地区で実施していくべきと考えますが、ご所見を伺います。

并A 本市では、洪水被害のリスクをご理解いただくため、甲府市洪水ハザードマップの改訂を契機として、市内5ブロックで説明会を開催してきたものの、令和元年東日本台風の検証結果や被災地へ派遣した職員の状況報告を受ける中で、改めて地震災害を想定した訓練のみならず、大規模な洪水等を対象とした訓練が極めて重要であると認識したところです。

このことから、洪水浸水の恐れのある地区を会場とする防災訓練において、洪水時の避難訓練を実施できるよう訓練計画の見直しを行うとともに、新たに洪水時の情報伝達及び避難経路の確認など、地域の実情に応じた訓練が実施できるよう対応してまいります。

サードプレイスづくりについて

質問Q 家庭や学校以外の居心地よい第3の場所として、サードプレイスが注目されていますが、甲府市子ども未来応援条例で規定している子どもの居場所づくりの狙いと取組について伺います。

并A 本条例における、子どもが地域で育つ「拠点づくり」では、子どもが安心して過ごすことができるよう、子どもの学習等に必要なお子どもの居場所を整備することとしています。

本事業を推進するため、子どもの育ちに関わる活動を行う個人や団体に対して、活動する場所や協力者の確保等の支援を行うとともに、子どもを支援する応援者同士の情報交換や連携が図られるネットワークを構築してまいります。

また、この居場所については、子どもたちが気軽に立ち寄り、様々な世代と交流できるサードプレイスとしての役割や機能を果たすものと考えています。



その他の質問事項

・精神保健福祉行政について 他



こうふ未来
一般質問（分割）

川崎 靖

人と動物が共生できる環境 づくりについて

質問Q 中核市に移行し、1年を
迎えますが、人と動物が共
生できる環境づくりへの取組状況
について伺います。

并A 本市では、獣医師等によ
る飼い主への指導・助言や、
適正飼養に関するポスター配布等
に取り組みとともに、市立動物園
の無料開放に合わせ、動物愛護
デーを開催し、市民の皆様は動物
愛護への理解と関心を深めていた
だけるよう努めてまいりました。

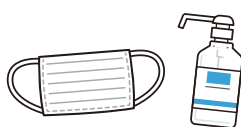
加えて、山梨県動物愛護指導セ
ンターとの意見交換や、試験的な
犬の譲渡の実施等、殺処分削減
に向け連携を図ってまいりました。
こうした結果、処分を依頼する
犬や猫の数が大幅に削減される見
込みであり、人と動物の共生社会
へ一歩近づいたと実感しています。
今後も、新たに動物愛護推進員
を委嘱する中で、動物愛護精神の
更なる醸成を図ってまいります。

新型コロナウイルス感染症 への対応について

質問Q 帰国者・接触者相談セン
ターでの対応状況と市内で
患者が発生した場合の対応につ
いて伺います。

并A 本市では、感染が疑われ
る方からの問い合わせ等に
対し、甲府市健康支援センター内
の帰国者・接触者相談センターに
おいて24時間体制で対応を行う中、
市民の皆様からの相談等について
は丁寧に、病院等からの連絡につ
いては柔軟に対応しています。

今後、市内において感染された
方が発生した場合は、感染症法に
基づき、感染症指定医療機関で入
院治療を受けていただけるよう、
入院の勧告や就業の制限を行うと
ともに、患者様ご本人から症状の
経過や行動歴等をお聞きする積極
的疫学調査を行う中で、感染経路や濃厚
接触者を特定するな
ど、感染拡大の防止
に向けた対策を講じ
てまいります。



その他の質問事項

・犬猫殺処分ゼロに向けてのルー
ルづくりについて 他



政友クラブ
一般質問（分割）

鈴木 篤

特別支援学級に在籍する児 童・生徒のあすなろ学級へ の入級について

質問Q 特別支援学級に在籍する
児童・生徒への不登校対策
は、各小中学校で対応している状
況ですが、あすなろ学級への入級
を含めた本市の見解と、検討状況
について伺います。

并A 不登校やその傾向にある
児童・生徒の学校復帰を支
援していくことは重要と考えてお
り、在籍校において別室指導やス
クールカウンセラー等が参加する
ケース会議等を行っています。

今後も、在籍校において学級復
帰に取り組む中で、あすなろ学級
入級が効果的と考えられる場合は、
自学自習できるかを基準に入級に
ついて判断し、また、あすなろ学
級入級が難しい事例については、
児童・生徒及び保護者の希望があ
る場合、教育的配慮のもと、転居
を必要としない柔軟な転校措置も
検討してまいります。

乳幼児福祉避難所の新設に ついて

質問Q 令和元年東日本台風にお
ける避難行動を契機として、
災害が長期化した際に設置される
福祉避難所に乳幼児対応の避難所
も設置すべきと考えますが、見解
を伺います。

并A 本市は、73カ所の福祉施
設を福祉避難所に指定して
いますが、乳幼児に対する支援が
必要な場合は専門職等による相談
支援体制を確保することとしてお
り、更なる支援の充実に向け、関
係機関等と協議を行っています。

また、災害の種類や被害状況等
により、全ての福祉避難所が利用
できるとも限らないため、より多
くの福祉避難所を指定していくこ
とも有効であると考えています。

今後は、乳幼児に特化した施設
の性質や位置等
を考慮する中で、
他都市の福祉避
難所の設備等を
調査・研究して
まいります。



その他の質問事項

・地域の文化財等の後世への継承
について 他



政友クラブ
一般質問（分割）

鮫田 光一

山梨県等との空き家対策の連携について

質問Q 空き家の有効活用に向けた、山梨県や県内市町村との協議の進捗について伺います。

回答A 空き家対策には、事業実施に伴う財政負担や専門家団体との連携等、様々な課題があり、市町村単独での取組が難しいことから、本市が県内市町村の中心となり、市長会等を通じ山梨県に対し、空き家対策に関する補助制度の創設や全県での空き家相談員制度の構築について要望しました。

この結果、昨年7月に、山梨県において、市町村が実施する空き家の除却や活用等の事業に係る経費に対する新たな補助制度が創設されたところです。

更に、本年2月より、山梨県と県内市町村、専門家団体で構成する空き家等対策市町村連絡調整会議において、他県のモデルを参考にした新たな空き家の相談体制の構築に向け協議を始めたところです。

放課後児童クラブの受け入れについて

質問Q 今後における放課後児童クラブ利用児童数の見込みに対する受け入れ確保策について伺います。

回答A 放課後児童クラブの利用状況は、共働き世帯の増加等により、平成28年度以降、年々増加しており、今年度当初の利用児童数は1763名です。

また、現在策定中の甲府市子ども・子育て支援計画のニーズ調査と現行計画の調査結果との比較では、放課後児童クラブを希望する割合は、特に南部地域での需要が高まっている状況です。

今後、利用児童数の増加が見込まれる地域等については、待機児童を生じさせないように、周辺施設との複合化や民間委託施設の拡充等を検討し、適切なサービスの提供に向け、計画的に施設整備を図ってまいります。



その他の質問事項

・甲府農業振興地域整備計画における整備事業について 他



創政こうふ
一般質問（分割）

小沢 宏至

消防団の再編について

質問Q 人口の分布状況や管轄範囲の面積等に合わせ、分団の統合や再配置、再編成を検討すべきと考えますが、見解を伺います。

回答A 近年、災害が頻発し消防団への期待が高まる中、全国的に団員の確保が課題となっており、消防団組織を維持することを目指すとして、組織の再編に取り組む都市があることは認識しています。

本市では、広報こうふでの団員募集や甲府市学生消防団活動認証制度の導入等、積極的な団員の確保に努めており、現在、急激な団員数の減少は見られませんが、地域によって団員の充足率に差があり、地域の実情に応じ、分団ごとの定数の見直しを実施しています。今後、地域防災にとって欠かすことのできない消防団を将来にわたり維持できるよう、組織の見直しについて、地域の実情を把握するとともに、他都市の事例についても調査・研究してまいります。

市街化区域への編入について

質問Q リニア新駅周辺を市街化区域に編入する進め方と通勤や防災面を考慮し、市街化調整区域の一部を市街化区域に編入することについて伺います。

回答A 甲府市都市計画マスタープランにおける広域交流拠点については、リニア時代を見据えたまちづくりを進めていくこととしており、新市街地を市街化区域に編入していくためには、山梨県が策定する都市計画区域マスタープランに位置付けられる必要があることから、山梨県に対し申出を行い、現在協議をしています。

一方、その他の市街化調整区域については、国の方針を踏まえ、市街化区域への編入による市街地の拡大は困難であるため、今後は、地域特性を活かした土地利用に向け、開発許可制度の運用改正に取り組み中で、郊外での新たな宅地化のあり方を検討していく必要があると考えています。



その他の質問事項

・こうふ開府500年のレガシー事業について 他



創政こうふ
一般質問（分割）

望月 大輔

子どもの権利を守る取組について

質問Q 甲府市子ども未来応援条例に基づき、子どもの権利を守るための取組について伺います。

并A 取組の推進にあたっては、いじめ等の問題への対応が困難な場合に助言を行うとともに、申立てを受け、または自らの判断で是正要請等を行うなど、子どもの権利を回復することを目的に、専門的な見識を有する者で構成する第三者機関として、子どもの権利擁護委員を設置します。

更には、権利擁護委員が、地域で子どもの問題に関する相談に応じる団体等に対しても助言を行うことにより、子どもを見守る体制の強化も図ってまいります。

また、子どもの権利等の普及・啓発により、子どもが自分を大切に、他の人を尊重する心を育むことや、誰もが子どもの権利を認識し、大切にする事で、いじめ等の未然防止につながると考えています。

租税教育の取組について

質問Q 本市は他都市に比べて租税教室の開催が少ない状況ですが、租税教育に対する認識と今後の取組について伺います。

并A 次代を担う児童・生徒が税に関する正しい知識や納税の義務を学ぶ租税教育は重要と考えており、現在、学校では社会科の授業の中で学習しています。租税教室は、パネルやクイズを用いたり、模擬1億円の重さを体感させるなど、児童・生徒の発達段階にあわせ工夫されており、実施校からは、税に関する関心が高まったとの話を聞いています。

また、令和2年度より全面实施される次期学習指導要領において、小中高等学校を通じて社会形成に参画する態度を育む教育の推進を図ることとなっていることから、各学校長に租税教室の積極的な活用を促してまいります。



その他の質問事項

・本市の国土強靱化地域計画策定への取組について 他



公明党
一般質問（分割）

堀 とめほ

GIGAスクール構想について

質問Q 学校ICT環境の抜本的な改善と、子どもたちの創造性を育む学びの実現を目指すとしている、国のGIGAスクール構想に対する本市の展望を伺います。

并A 今年度、市内の小中学校のパソコン教室にタブレットパソコンを整備するとともに、新学習指導要領に追加となるプログラミング教育への対応を図ったところでは。

こうした中、国は地方自治体に対し、校内通信ネットワークの整備と義務教育段階の児童・生徒一人一台端末を整備するとしており、本市においても、国の方針と合致するため、学習環境の更なる充実を図ることとし、その費用を補正予算案として提案したところです。

今後は、今年度整備したタブレットパソコンを活用しながら、効果的な授業展開が図られるよう取り組んでまいります。

ごみの減量化について

質問Q ごみの減量化に向け、より分別しやすくするため、指定ごみ袋への多言語表示やイラスト表示をしてはどうかと考えますが、ご所見を伺います。

并A ごみ減量化の推進については、適切なごみの排出にご理解・ご協力いただけるよう、広報こうふやごみへらし隊の出前講座等により、資源物の分別排出、生ごみの水切りの徹底等の周知・啓発活動に努めています。

また、外国人の方には、7カ国語によるごみの分け方・出し方の冊子を住民登録の際に配布するとともに、市ホームページにも掲載し、イラストを使用するなど、わかりやすくごみの排出方法や分別方法を周知しています。

ご提案の指定ごみ袋への多言語表示やイラスト表示については、他都市の事例を参考に表示内容等を調査・研究してまいります。



その他の質問事項

・発達障がい児への早期支援について 他

委員会審査の概要

令和2年度予算案等を審査

◆予算特別委員会

委員長 奥石 修
副委員長 小澤 浩
委員 荻原隆宏
岡 政吉
深沢健吾
小沢宏至
長沢達也
藤原伸一郎
木内直子

鈴木 篤
坂本信康
天野 一
望月大輔
堀とめほ
川崎 靖
山田弘之



委員長報告（抜粋）

◆総括質問

◇新型コロナウイルス感染症の感染拡大への今後の対応について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大については、県内でも感染者が確認されたことを受け、市民の不安感や緊張感が高まるとともに、本市の経済活動にもま

すまず影響を及ぼしていると考えるところから、山梨県をはじめ市内の医療機関との緊密な連携と調整を図る中で、医療提供体制の整備に努め、感染予防の徹底と感染拡大の防止に万全を期すものとし、また、今般の感染拡大の影響を受け、売上高等が減少し、資金繰りに苦慮している中小企業に対してはセーフティネット保証制度の認定を速やかに行い、資金調達につなげるとともに、国の緊急支援策の動向等を注視する中で、安定して事業が継続できるような支援し、一日も早く安全・安心な市民生活が取り戻せるよう、国や県をはじめ関係機関等と連携しながら、適時的・確な対応に努めていくとの答弁がありました。

これに対し、新型コロナウイルス感染拡大による影響への対策を講じ、まさに元気を与えていくよう求める意見がありました。

◇令和2年度当初予算における本市の目指す方向性について

予算編成にあたっては、第六次甲府市総合計画の着実な推進はもとより、とりわけ、未来に向かって新たな甲府を創り上げていく人づくりに努めていくよう、「子どもたちの輝き」や「女性の活躍」、そして、「元氣City」というふ「づくりを中心に編成したところであり、圏域の発展を牽引していく中核市・甲府として、周辺自治体との連携を深め、多岐にわたる事務権限を最大限に活かしながら、市民福祉の増進と地域の活力向上に努める中で、持続可能なまちづくりに取り組んでいくとの答弁がありました。

これに対し、第六次甲府市総合計画の都市像の実現に向けた各施策や事業を着実に展開するとともに、連携中枢都市圏（用語解説①参照）の形成に向けた自治体間連携を図りながら、市民の笑顔が溢れるまちづくりに努めていくよう求める意見がありました。

用語解説①

「連携中枢都市圏」とは

活力ある社会経済を維持するための拠点、中心都市と近隣の農村とが連携する圏域を形成される圏域とです。

◇国庫補助金の活用について

少子高齢化や人口減少による様々な課題に直面している自治体において、特定の施策の奨励や財政援助として交付される国庫補助金は、持続可能な財政運営を維持する上で必要不可欠なものと考えるところから、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の趣旨に沿った地方創生推進交付金や、都市構造再編集中支援事業などの各種国庫補助金の活用を図るとともに、山梨県や公的団体等が行う補助制度についても積極的なメニュー把握に努める中で、本市の抱える課題解消につながる制度改正や財政支援を得るための積極的な要望活動を行っており、今後においても、国の予算編成や制度改正等の徹底した情報収集に努める中で、本市施策に国庫補助金を最大限活用していくとの答弁がありました。

これに対し、市民がより安全・安心

で快適に暮らすことができる事業展開をしていくよう、国庫補助金等の積極的な確保を求める意見がありました。

◇財政の健全化について

社会保障に係る扶助費及び市債償還による公債費の義務的経費などの増加を見込む中、歳入面においては、市税に係る課税客体の適正把握や収納率向上に向けた取組を更に推進させることともに、地方交付税の総額確保に向けた国への要望など、自主財源・依存財源の両面から経常的・一般財源の確保に努めており、また、歳出面においては、事業の緊急度、優先度を精査する中でこれまで以上に選択と集中に重きを置いた予算配分を行うとともに、計画的な市債の活用や低利な資金調達による公債費の抑制に努めるなど、徹底した経費削減に取り組んでおり、今後も、これまで同様に財政健全化4指標をいずれも早期健全化の基準内とするなど、適切に財政コントロールをする中で本市財政の健全性を堅持していくとの答弁がありました。

これに対し、健全な財政運営を維持していく財源を確保するため、様々な機会を通じて国へ要望していくよう求める意見がありました。

◇市民生活、地域経済の認識等について

県内において新型コロナウイルス感染者が確認されたことにより、各種イベントの自粛や、外出の手控えなどが進み、人とモノの動きが停滞することによる市民生活や地域経済への影響を大変危惧していることから、感染拡大による市民の皆様への不安を払拭することとに万全を期していくとともに、来年

令和2年度予算特別

度においては、市民負担の軽減を図るため、医療費助成、保育料軽減などの経済的支援を引き続き行い、また、本市の産業分野や雇用支援情報などを効果的に発信する産業支援サイトの運用、若手・新入社員のためのセミナーなどの人材育成や経営基盤強化及び創業支援等に向けた融資、更には最先端農業機械導入費など一次産業の振興に向けた予算措置を行い、地域産業の基盤強化に取り組んでいくとの答弁がありました。

◇甲府市子ども未来応援条例の進め方について

本条例においては、子どもに関わる全ての大人が連携・協働し、子どもが、地域で育つ「拠点づくり」や、健やかに育つ「体制づくり」、未来を築く「機会づくり」を柱とした子どもの育ちを応援するところであり、その取組は、多様な分野に広がることから、本市や家庭だけでなく、地域において子どもの育ちに関する活動を行う団体や個人などが、それぞれの特性を活かした活動を効果的に行うための仕組みづくりが重要になると考えており、来年度においては、子どもの育ちに関する活動を行う団体相互の意見交換や、より効果的な活動につなげるネットワークの構築を図るとともに、各団体の主体性を尊重する中で、専門的な知識及び経験を活かし、連携・協働できるよう支援していくとの答弁がありました。

◆条例

甲府市市民センター条例の一部を改正する条例制定については、南部市民センター浴室の使用料を増額することは、利用者の負担が増えることから反対であるとの意見と、周辺浴場施設との均衡を図る必要があることから賛成であるとの意見があり、採決の結果、多数をもって当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆一般会計

○歳入について

企業版ふるさと納税（用語解説②参照）の取組についてたまたにに対し、企業版ふるさと納税の導入に必要となる地域再生計画を作成するにあたっては、企業からの賛同を得られるような魅力ある事業を位置付けていくとの答弁がありました。

これに対し、企業からの寄附を原資として大学における講座の開催等を行うなど人材育成を図る取組を検討し、地域再生計画に位置付けられるよう求める意見がありました。

○総務費について

職員研修についてたまたにに対し、新たに内閣府に1名の職員を派遣し行政実務研修として地方創生推進事務局の業務に従事させるとともに、職員が自ら企画提案する提案参加型方式による研修等を引き続き実施していくとの答弁がありました。

これに対し、引き続き職員研修への積極的な参加を促していくとともに、国際交流都市を目指す本市として、海外への派遣研修についても検討するよう求める意見がありました。

○民生費について

屋内運動遊び場設置事業についてたまたにに対し、幼児期に多様な動きを経験することが健全な心身の発育に資することから、必要な動作が体験できる遊具を配備した施設を中心市街地に創設し、プレイリーダーを配置していくとの答弁がありました。

これに対し、学識経験者等と連携し、繰り返し訪れてもらえる遊び場とするとともに、市内の既存施設の将来的な利用についても検討していくよう求める意見がありました。

○土木費について

緑が丘スポーツ公園の整備についてたまたにに対し、野球場やテニスコート等については、整備効果を検証する中で実施設計を行っていくとともに、防災面については、地域や各種関係団体と協議しながら整備を進めていくとの答弁がありました。

これに対し、生涯スポーツの振興を支え、防災公園としての役割を担う公園となるよう求める意見がありました。

◆特別会計

○国民健康保険事業特別会計

賦課限度額の引き上げが含まれた予算編成であることから反対であるとの意見がありました。

○交通災害共済事業特別会計

本共済事業が市民にとって有益であることから、加入率の向上に向け、引き続き市民周知に努めるとともに、加入手続きの簡便化や効率化を検討するよう求める意見がありました。

◆企業会計

○病院事業会計

一般会計からの繰入金についてたまたにに対し、国において、周産期医療や小児救急等に対する特別交付税措置が拡充されたことに伴い、増額して計上しているとの答弁がありました。

これに対し、病院経営は厳しい状況にあるが、引き続き経営改善に努めていくとともに、一層の医療体制の充実を図っていくよう求める意見がありました。

○下水道事業会計

下水道使用料の徴収方法についてたまたにに対し、電子決済等を含めた支払方法の多様化に取り組み、引き続き収納率の向上に努めていくとの答弁がありました。

採決の結果、いずれも当局原案のとおり可決するものと決しました。

用語解説②

「企業版ふるさと納税」とは
地方自治体による地方創生のプロジェクトに対し、その趣旨に賛同した民間企業が寄附を行うことで、税額控除が受けられる制度です。

例会 審議結果

	議案番号	件名等	議決月日	結果	政友クラブ	創政こうふ	公明党	こうふ未来	日本共産党	こうふクラブ
条例の制定・一部改正	議案第39号	甲府都市計画事業寿宝地区土地区画整理事業施行規程を廃止する条例制定について	3月24日	可決	○	○	○	○	○	○
	議案第40号	甲府都市計画事業甲府駅周辺土地区画整理事業施行規程の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第41号	甲府市市営住宅条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第42号	甲府市浄化槽保守点検業者の登録に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第45号	甲府市重度心身障害者医療費助成金支給条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	×	×
	議案第46号	甲府市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	×	×
契約の締結	議案第43号	工事委託契約の変更契約の締結について	3月10日	可決	○	○	○	○	○	○
	議案第44号	包括外部監査契約の締結について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第47号	工事請負契約の変更契約の締結について	//	//	○	○	○	○	○	○
議員提出	甲議第1号	甲府市議会議会局設置条例制定について	2月26日	可決	○	○	○	○	○	○
	甲議第2号	甲府市役所の業務改善に関する決議について	//	//	○	○	○	○	○	○
	甲議第3号	「女性の健康についての包括的支援に関する法律」の制定を求める意見書提出について	3月10日	//	○	○	○	○	○	○
	甲議第4号	核兵器廃絶に向けた一層の取組を求める意見書提出について	3月24日	//	○	○	○	○	○	○
	甲議第5号	新型コロナウイルスの影響への対策を求める意見書提出について	//	//	○	○	○	○	○	○
選挙	甲選第1号	甲府市選挙管理委員会委員の選挙について	3月10日	当選	○	○	○	○	○	○
	甲選第2号	甲府市選挙管理委員会委員の補充員の選挙について	//	//	○	○	○	○	○	○
	甲選第3号	新倉外三字施業区恩賜県有財産保護組合議会議員の選挙について	//	//	○	○	○	○	○	○

※公明党の兵道頭司議員は、一身上の都合により3月24日欠席

○賛成 ×反対

《会派構成》

政友クラブ ○池谷陸雄 荻原隆宏 原田洋二 鈴木 篤 岡 政吉 坂本信康 長沼達彦 小澤 浩 末木咲子 深沢健吾 鮫田光一

創政こうふ ○清水 仁 金丸三郎 奥石 修 山中和男 天野 一 小沢宏至 望月大輔 寺田義彦

公明党 ○兵道頭司 植田年美 中村明彦 長沢達也 堀とめほ

こうふ未来 ○廣瀬集一 神山玄太 藤原伸一郎 川崎 靖

日本共産党 ○清水英知 木内直子

こうふクラブ ○山田 厚 山田弘之

◎は会派代表者

◆甲府市選挙管理委員会委員の選挙当選者

志村文武（伊勢地区） 三井和子（池田地区） 土屋明彦（中道地区） 原 栄治（里垣地区）

◆甲府市選挙管理委員会委員の補充員の選挙当選者

中澤貴三男（貢川地区） 今井妙子（里垣地区） 大塚 茂（新紺屋地区） 秋山 直（湯田地区）

◆新倉外三字施業区恩賜県有財産保護組合議会議員の選挙当選者

平川 洋 小林武文 長田 博 荒井濱雄（中道地区のみなさま）（敬称略）

令和2年3月定例会請願審査結果

	番 号	件 名	付託委員会	結 果
請願	第2-1号	法律上同性同士のカップル等のパートナーシップを承認する制度の創設など性的マイノリティに関するより一層の取組を求める請願	総 務	採 択
	第2-3号	「女性の健康についての包括的支援に関する法律」の制定を求める請願	民生文教	//
	第1-2号	核兵器禁止条約への日本政府の署名と批准を求める意見書採択についての請願	総 務	継続審査
	第1-3号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める請願	民生文教	//
	第1-4号	介護従事者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める請願	//	//
	第1-5号	看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める請願	//	//
	第1-6号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願	経済建設	//
	第2-2号	治安維持法犠牲者国家賠償法（仮称）の制定等を国に求める請願	総 務	//
	第2-4号	甲府市立図書館サービスの充実を求める請願	民生文教	//

令和2年3月定

	議案番号	件名等	議決月日	結果	政友 クラブ	創政 こうふ	公明党	こうふ 未来	日本 共産党	こうふ クラブ
令和2 年度 予算	議案第1号	令和2年度甲府市一般会計予算	3月24日	可決	○	○	○	○	×	×
	議案第2号	令和2年度甲府市国民健康保険事業特別会計予算	//	//	○	○	○	○	×	×
	議案第3号	令和2年度甲府市交通災害共済事業特別会計予算	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第4号	令和2年度甲府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	//	//	○	○	○	○	×	○
	議案第5号	令和2年度甲府市介護保険事業特別会計予算	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第6号	令和2年度甲府市農業集落排水事業特別会計予算	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第7号	令和2年度甲府市後期高齢者医療事業特別会計予算	//	//	○	○	○	○	×	×
	議案第8号	令和2年度甲府市浄化槽事業特別会計予算	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第9号	令和2年度甲府市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第10号	令和2年度甲府市地方卸売市場事業会計予算	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第11号	令和2年度甲府市病院事業会計予算	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第12号	令和2年度甲府市下水道事業会計予算	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第13号	令和2年度甲府市水道事業会計予算	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第14号	令和2年度甲府市簡易水道等事業会計予算	//	//	○	○	○	○	○	○
令和元年度 補正予算	議案第15号	令和元年度甲府市一般会計補正予算(第5号)	3月10日	可決	○	○	○	○	×	○
	議案第16号	令和元年度甲府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第17号	令和元年度甲府市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)	//	//	○	○	○	○	×	○
	議案第18号	令和元年度甲府市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第19号	令和元年度甲府市病院事業会計補正予算(第1号)	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第48号	令和元年度甲府市一般会計補正予算(第6号)	3月24日	//	○	○	○	○	○	○
条例 の 制 定 ・ 一 部 改 正	議案第20号	甲府市無料低額宿泊所の設備及び運営に関する基準を定める条例制定について	3月24日	可決	○	○	○	○	○	○
	議案第21号	甲府市地域包括支援センター運営協議会条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第22号	甲府市子ども未来応援条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第23号	甲府市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第24号	甲府市職員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第25号	甲府市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第26号	甲府市古閑・梯町簡易水道整備基金条例を廃止する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第27号	甲府市印鑑条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第28号	甲府市自転車駐車場条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第29号	甲府市市民センター条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	×	×
	議案第30号	甲府市敬老条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	×	×
	議案第31号	甲府市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第32号	甲府市国民健康保険直営診療所条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第33号	甲府市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第34号	甲府市食品衛生法施行条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第35号	甲府市動物の愛護及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第36号	甲府市手数料条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第37号	甲府市中小企業振興融資条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第38号	甲府市地方卸売市場業務条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○

常任委員会審査の概要

予算や条例など付託案件を
審査した経過等の概要です。

常任委員長
報告要旨

民生文教 委員会

委員長：中村明彦 副委員長：深沢健吾
委員：岡 政吉 天野 一 寺田義彦
川崎 靖 木内直子 山田 厚

(3月5日審査)

◆議案第15号 令和元年度甲府市一般会計補正予算（第5号）中民生文教委員会所管分

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、教材・情報環境整備事業については、授業等に支障をきたさぬよう工事を進めるとともに、良好なICTの利用環境整備と適切な維持管理に努めるよう求める意見がありました。

◆議案第16号 令和元年度甲府市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）他2案

3案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆請願第2-3号 「女性の健康についての包括的支援に関する法律」の制定を求める請願

女性の職業生活における活躍の推進に関する法律が成立しているものの、現時点においては女性の健康問題への対策が十分であるとは言えず、その充実には女性の健康支援対策を総合的かつ計画的に推進する法律の制定が必要であることから、願意妥当であり採択すべきであるとの意見があり、全員異議なく採択するものと決しました。

(3月24日審査)

◆議案第48号 令和元年度甲府市一般会計補正予算（第6号）中民生文教委員会所管分

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、非常時において介護施設や医療機関等に使い捨て手袋やマスク等を配布するためのマニュアル等を整備するとともに、保育所等の施設運営に対して事務負担の軽減策を検討していくよう求める意見がありました。

環境水道 委員会

委員長：山中和男 副委員長：山田弘之
委員：原田洋二 鈴木 篤 小澤 浩
小沢宏至 植田年美 廣瀬集一

(3月6日審査)

◆議案第15号 令和元年度甲府市一般会計補正予算（第5号）中環境水道委員会所管分

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

総務 委員会

委員長：長沼達彦 副委員長：神山玄太
委員：坂本信康 鮫田光一 金丸三郎
清水 仁 兵道顕司 清水英知

(3月5日審査)

◆議案第17号 令和元年度甲府市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）他1案

2案については、貸付事業は償還率が低く、特別会計の貸付金未償還分を一般会計からの繰出金で補てんすることには反対であるとの意見がありましたが、採決の結果、いずれも多数をもって当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆議案第44号 包括外部監査契約の締結について

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆請願第2-1号 法律上同性同士のカップル等のパートナーシップを承認する制度の創設など性的マイノリティに関するより一層の取組を求める請願

国において、性的指向、性自認等に関する理解を促進し、社会全体が多様性を受け入れる環境づくりへの取組を進める中、本市においても、生きづらさを感じるものない、寛容性のある社会の実現を目指し、県内自治体初となるパートナーシップを承認する制度の導入に向け取り組むべきであることから、願意妥当であり採択すべきであるとの意見があり、全員異議なく採択するものと決しました。

なお、請願第2-1号の請願については、当局に対し、令和2年6月定例会でその処理の経過と結果について報告を求めます。

経済建設 委員会

委員長：長沼達也 副委員長：望月大輔
委員：荻原隆宏 池谷陸雄 末木咲子
興石 修 堀とめほ 藤原伸一郎

(3月6日審査)

◆議案第15号 令和元年度甲府市一般会計補正予算（第5号）中経済建設委員会所管分

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、交通安全施設整備事業については、子どもたちの安全確保を図るため、引き続き通学路における危険箇所への対応を迅速に行っていくよう求める意見がありました。

◆議案第43号 工事委託契約の変更契約の締結について 他1案

2案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

(3月24日審査)

◆議案第48号 令和元年度甲府市一般会計補正予算（第6号）中経済建設委員会所管分

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、速やかに中小企業等への資金調達が行われるよう、セーフティネット保証の迅速な認定を求める意見がありました。

常任委員会行政視察の状況

議会閉会中でも、議案審査の参考にするため調査活動を行っています。

民生文教委員会

実施日：令和2年1月22日～24日

○視察場所・視察項目

〈埼玉県戸田市〉
・教育改革の取組について
〈栃木県足利市〉
・「キッズピアあしかが」について
〈新潟県三条市〉
・生涯輝く！「プラチナエイジ躍進計画」について



足利市での視察の様子

環境水道委員会

実施日：令和2年1月29日～30日

○視察場所・視察項目

〈埼玉県熊谷市〉
・暑さ対策と地球温暖化対策について
〈栃木県宇都宮市〉
・SDGs 達成に向けた環境施策について



熊谷市での視察の様子

市民の声を反映して

請願または議員自らの提案に基づき、市議会の意思を決定し提出・表明します。

核兵器廃絶に向けた一層の 取組を求める意見書

貧困や格差の増大、相互不信が渦巻く世界の中で、紛争の絶えない地域が依然存在し、加えて米朝首脳会談での北朝鮮の非核化に係る合意の見送りなど、核兵器廃絶に向けた動きは停滞している感がある。

我が国が唯一の被爆国として、核保有国と非保有国との溝を埋めるべく、今後開催予定の核拡散防止条約（NPT）再検討会議などを通じ、一層の努力をしていく予定であることは理解している。

本市も、昭和57年7月2日に「核兵器廃絶平和都市宣言」を高らかに宣言し、その崇高な理想は40年近くたった今でも決して色あせることはない。

我々は、核の恐ろしさと被爆の苦しみを知る我が国にあって、核廃絶と恒久平和を希求し、率先して行動してきた核兵器廃絶平和都市である甲府市を代表し、あらゆる手立てを講じて核兵器の廃絶に向けた取組を一層加速するよう政府に求める。

提出先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣
外務大臣

新型コロナウイルスの影響への 対策を求める意見書

新型コロナウイルス感染症による地域経済への影響を最小限に食い止めるため、国に対し以下要望する。

- 1 中小企業・小規模事業者への支援策の更なる拡充や柔軟な運用に努めるとともに、中小企業支援団体の体制の充実・強化を図ること。
- 2 観光客の激減やキャンセルの増加、国の自粛要請に伴う休校やイベントの中止・延期による大幅な減収等に対する支援策を講じること。
- 3 中小企業・小規模事業者への助成金の拡充及び要件緩和を図ること。また、非正規雇用労働者に対する支援の充実を図るとともに、支援が受けられない方々への支援策を速やかに講じること。
- 4 医療機関、福祉施設、保育施設等に対して、感染拡大の防止に必要なマスクや消毒薬等の備品が充足されるよう速やかな対策を講じること。

提出先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣
財務大臣 厚生労働大臣 経済産業大臣

「女性の健康についての包括的支援に 関する法律」の制定を求める意見書

女性特有の健康問題への対策を一層充実するためには、国の制度が必要となることから、女性の健康についての包括的支援に関する法律を早期に制定し、女性の健康支援対策を総合的かつ計画的に推進されるよう、次の事項について強く要望する。

- 1 女性の健康についての包括的支援に関する法律を早期に制定し、女性の健康支援対策の総合的かつ計画的な推進を図ること。
- 2 自らの健康の保持増進に主体的に関心をもてる環境の整備が必要なことから、ライフデザインの形成ばかりでなく、社会参加を後押しするキャリアデザインの形成や女性の健康に係る問題に、的確に対応できるような包括的な支援の実現を図ること。

提出先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣
総務大臣 文部科学大臣 厚生労働大臣
女性活躍担当大臣

甲府市役所の業務改善に関する決議

我が国においては、世界的にも類を見ない人口減少・少子高齢化が進行しており、本市においても、こうした現状を打破するための施策展開等に起因して職員の長時間労働等が余儀なくされるなど、業務改善の必要性が高まっている。

このような中、膨張し続ける諸施策に対するスクラップ・アンド・ビルドの観点を堅持しつつ、持続可能な地域社会の実現に向け、確かな業務の進め方の再考が求められていることから、次の事項について適切な措置を講じるよう強く要望し、決議する。

- 1 職員の業務量や勤務実態を把握し、速やかに業務改善を図ること。
- 2 働き方改革関連法の適切な運用を徹底すること。
- 3 諸施策の執行に当たり、働きやすい確かな選択と集中を行うこと。

議会日誌

1月14日(火)	議会制度調査研究会	3月5日(木)	常任委員会(総務・民生文教)
1月15日(水)	正副委員長会議	3月6日(金)	常任委員会(経済建設・環境水道)
1月22日(水)	民生文教委員会行政視察	3月10日(火)	議会運営委員会、本会議(各常任委員長報告、採決)、会派代表者会議、
1月24日(金)			甲府市議会新型コロナウイルス感染症対策連絡会議設置・第1回会議開催
1月29日(水)	環境水道委員会行政視察		
1月30日(木)		3月12日(木)	予算特別委員会
1月31日(金)	会派代表者会議、議会運営委員会	3月13日(金)	
2月4日(火)	山梨県市議会議長議員合同研修会(後期)	3月16日(月)	
2月10日(月)	総務委員会	3月17日(火)	
2月12日(水)	議会制度調査研究会	3月18日(水)	会派代表者会議
2月13日(木)	リニア・公共交通調査研究会	3月19日(木)	
2月14日(金)	広報委員会	3月24日(火)	議会運営委員会、本会議(予算特別委員長報告、討論、採決、提案理由の説明、民生文教・経済建設委員会付託)、民生文教・経済建設委員長報告、採決、
2月19日(水)	会派代表者会議、議員互助会研修会		3月定例会閉会、広報委員会
2月20日(木)	議会運営委員会	4月1日(水)	甲府市議会新型コロナウイルス感染症対策連絡会議・第2回会議開催
2月25日(火)	会派代表者会議	4月2日(木)	甲府市議会新型コロナウイルス感染症対策連絡会議・市に要望書を提出
2月26日(水)	議会運営委員会、3月定例会開催、本会議(提案理由の説明)、広報委員会	4月7日(火)	広報委員会
3月2日(月)	本会議(質疑及び市政一般質問)		
3月3日(火)	会派代表者会議、本会議(質疑及び市政一般質問)		
3月4日(水)	議会運営委員会、本会議(質疑及び市政一般質問、各常任委員会付託、予算特別委員会設置)、予算特別委員会		



無料アプリ「マチイロ」を利用して、スマートフォンなどで、いつでも甲府市議会だよりが読みいただけます。

※通信料は利用者負担となります。
※表示される広告の内容については、一切責任を負いません。

6月定例会の予定

月	火	水	木	金	土	日
6/8	9	10	11	12	13	14
	本会議(開会)	休会	休会	本会議(市政一般質問)		
15	16	17	18	19	20	21
本会議(市政一般質問)		常任委員会		休会		
22	23	24	25	26	27	28
本会議(閉会)						

本会議や委員会などはいつでも傍聴できます。

なお、本会議の内、開会日及び市政一般質問を行う3日間はNNS(10ch)やインターネットによる中継のほか、本庁舎南側にある大型ビジョンでも放映します。

編集後記

地方議会の役割って、みなさま知っていますか？地方自治法に議会が決めてはいけないことが書かれているのですが、ざっくり言うと、ルールを作り、お金の使い方を決め、その使い方をチェックする、それが議会の役割です。「自分たちのことは、自分たちで決める」という民主主義を機能させるためには、議会ですら何を議論し、何を決めているか、ということをも市民はいつでも確認できなくてはなりませんし、議会も自分たちの活動をもっと市民に知ってもらわなければなりません。

だから甲府市議会は「もっと市民に開かれた議会」になるために、これからも日々、変化していきます。市民と議会をつなぐこの甲府市議会だよりも、よりみなさまに読んでいただけるように変わっていきます。ぜひご期待ください。

広報委員 神山玄太

甲府市議会広報委員会

委員長：金丸三郎 副委員長：植田年美 委員：深沢健吾 寺田義彦 堀とめほ 神山玄太 木内直子 山田弘之

甲府市議会ホームページ・Eメール

URL <http://www.city.kofu.yamanashi.jp/shise/gikai/index.html>

Email gikai@city.kofu.yamanashi.jp



〈モバイル〉



〈フェイスブック〉